

序

今年度も、関係者の皆様の御協力により、全国学力・学習状況調査を無事に実施することができました。今回、教科に関する調査においては、国語、算数・数学に加えて4年ぶりに理科の調査が実施されました。文部科学省による調査結果を受け、本県は「ほとんどの教科において、全国に比べて平均正答率が低い」「記述式で解答する出題に対して特に正答率が低く、無解答の児童生徒も多い」などの状況について公表したところです。

県教育委員会では、第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」を令和2年2月に策定し、目標の一つとして「ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる」を掲げています。また、その実現に向けて「ちばっ子『学力向上』総合プラン(学びの未来づくり ダブル・アクション+ONE)」のもと、様々な取組を展開しています。

県総合教育センターでは、このプランに基づき、本調査に係る分析・研究を行い、児童生徒の学力向上に向けて各学校に活用いただけるよう、「県独自の分析ツール」の作成・提供や「学力向上の手引き」の作成・提供などを行っています。

各学校におかれましては、自校の成果と課題を把握・検証し、家庭や地域との連携を図りながら、実態に応じた取組を行うことが求められます。まず、教科に関する調査については、各教科の正答率ばかりに気を取られることなく、具体的な設問に目を向け、「児童生徒がどのような考えでどのような誤りをしているのか」を分析し、指導改善を図ってください。また、質問紙調査については、児童生徒の学習環境や自己有用感、学校運営等の状況を分析し、子供たちへの指導を充実させるとともに、必要に応じて学校評価その他の指標に反映するなど、学校経営の改善に活用してください。

最後になりますが、児童生徒の学力向上は「校長先生を中心に、先生方一人一人がいかに本気になるか」にかかっています。児童生徒のつまずきの原因やその改善を探る手がかりとして本手引きを活用いただき、児童生徒の学力向上の取組を一層充実していただくようお願いいたします。

千葉県総合教育センター
所長 神子 純一

目 次

序	1
目次	2
I 全国学力・学習状況調査の概要	3
1 令和4年度調査の概要	4
2 令和4年度の代表的な設問例	4
3 令和5年度調査の予定	7
☆ トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて①	8
II 令和4年度 千葉県の調査結果	9
1 結果の概要	10
(1) 教科に関する調査	10
①令和4年度教科別調査結果（平均正答数及び平均正答率）	10
②学校種別・教科別の平均正答率（全国比）の経年変化	10
(2) 質問紙調査	12
①児童生徒質問紙調査	12
②学校質問紙調査	13
2 結果の詳細	14
(1) 教科に関する調査	14
①小学校国語	14
②中学校国語	18
③小学校算数	22
④中学校数学	26
⑤小学校理科	30
⑥中学校理科	34
(2) 質問紙調査	38
①主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	38
②学習時間の状況（学習習慣・学習環境等）	40
③ゲームやSNS・動画視聴の状況（基本的な生活習慣等）	41
④ICTを活用した学習状況	42
⑤記述の指導に関する状況（国語科の指導方法）	44
⑥探究型の指導に関する状況（理科の指導方法）	44
⑦全国学力・学習状況調査の結果の活用	45
☆ トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて②	46
III 県の分析ツールの活用について	47
1 分析ツールについて	48
(1) 分析ツールとは	48
(2) 分析ツールの入手方法	48
(3) 分析ツールの活用場面	49
2 4つの分析シートの活用について	50
(1) 教科・質問紙分析シート	50
(2) 経年分析シート	51
(3) 誤答分析シート	52
(4) クロス集計シート	55
☆ トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて③	56
IV 質問紙調査回答結果集計データ	57
1 児童生徒質問紙調査	58
2 学校質問紙調査	66